

国立病院機構本部主催の看護師特定行為指導者講習会

鳥居 剛[†]第75回国立病院総合医学会
(2021年10月23日～11月20日WEB開催)

IRYO Vol. 76 No. 6 (428-432) 2022

要旨

看護師特定行為研修の指定研修期間、協力機関数は飛躍的に増加しており、指導者に対する指導者講習会の需要も増している。国立病院機構では本部主催の指導者講習会を2020年度より開始した。新型コロナウイルス感染症流行下にあって、web形式での開催を企画し運営した。従来の集合形式と比較して研修参加しやすい利点はあるが、PC操作や通信の問題もあり、参加者同士の情報交換がしづらい欠点もある。研修を企画・実施していく上での考え方としてインストラクショナル・デザインに関する講義を入れたのが特徴である。指導者は教育者のみならず特定行為研修修了者のよきロールモデルでもあり、また施設に対して特定行為研修をアピールする役割ももつ。指導者自身も継続して学ぶことで、今後の特定行為研修の質、看護の質の向上、そして患者安全や満足度上昇につながることを期待したい。

キーワード 看護師特定行為研修、指導者講習会、Web形式

緒言

国立病院機構（NHO）は、看護師特定行為研修修了者を増やすために、看護師特定行為指定研修機関（以下、指定研修機関）を50施設置くことを目標としている。各研修機関での指導者の育成も急務であり、看護師特定行為研修指導者講習会（以下、指導者講習会）を2020年度より開催している。本稿では、NHO本部として取り組んできた指導者講習会開催に関することと、開催してみえてきた指導者支援の方向性について概説する。

はじめに

看護師特定行為研修の指定研修機関には、適切な

指導体制を確保していることが求められる。その指導者は、指導を行うために必要な経験および能力を有している者で、特定行為研修に必要な指導方法等に関する講習会を受講していることが望ましいとされている。特定行為研修に必要な指導方法に関する講習会とは、すなわち指導者講習会のことを指している。

指導者講習会は指定研修期間や指定研修期間と連携して実習など行う協力施設における指導者の理解を促進すること、効果的に指導を行うことができる指導者を養成することにより特定行為研修の質の担保を図ることを目的としている。対象は医師、看護師、薬剤師である。

全国の指定研修機関は急増しており、2021年度はじめには270施設にのぼっている（図1）。指定研修

国立病院機構本部 医療部（現所属：国立病院機構 広島西医療センター）[†]医師

著者連絡先：鳥居 剛 国立病院機構 広島西医療センター

〒739-0696 広島県大竹市玖波4丁目1番1号

e-mail: torii.tsuyoshi.ae@mail.hosp.go.jp

(2022年3月22日受付, 2022年8月5日受理)

Faculty Development for Certified Nurse Specialist Training Course

Tsuyoshi Torii, Medical Department of Headquarter, National Hospital Organization

(Received Mar. 22, 2022, Accepted Aug. 5, 2022)

Key Words: certified nurse specialist, faculty development, on-line seminar